事例No.	2074
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	奈良県三宅町

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・人材確保・育成 ・ICT

事例種類	農林水産業

事例内容・タイトル

ドローンを活用した農薬散布による害虫の発生抑制

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

94 ドローンを活用した農薬散布による害虫の発生抑制【奈良県三宅町】

事業の概要

○　三宅町では、令和2年度に全国的な水稲枯死被害をもたらしたトビイロウンカ(害虫)による被害を防ぐため、令和3年度から農業用ドローンを活用した農薬散布を試験的に実施している。

○　町内6地区において、各地区1ヘクタール程度のエリアについて、ドローンによる農薬散布を実施した。ドローンによる散布は、ある程度まとまったエリアで行う必要があるため、散布エリアの調整にあたっては、地域の農業委員や農家代表に協力を依頼し、実施エリアを決定した。農薬の選択や散布時期については、奈良県病害虫防除所の助言を受け決定した。

○　町では、令和4年12月に被害状況や効果等の検証報告会を開催し、農業被害の抑制・水稲生産力の維持につなげていくところである。



【参考情報】 人口：0.7万人
関連URL：　－

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



R2年に三宅町の約6割の圃場でトビイロウンカの被害が出たことを受け、当時の農業委員会会長が町長に被害の対応を検討すべきと提案されました。
その結果、R3年～R4年にかけて、実証実験として当事業を実施することとなりました。

（三宅町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



活用しておりません。
全て町単独の予算で行いました。



住民の反応（声）はいかがですか？



町内の農家さんからは、「ドローンを使うと楽に農作業ができる」、「今後はまとまって農作業をすることも考えたい」という声があがっています。
今回の事業で地域でまとまって作業を行うことの効率の良さを実感してもらい、地域として今後の農業を考えるきっかけにしてもらいたいです。

★担当：三宅町産業振興課★

令和3年度事業費　1,277千円